



教育目標 思いやりのある子 深く考える子 きたえる子 行動する子

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。この度は、学校評価アンケート（後期）のご協力、ありがとうございました。皆様の学校へのご関心、ご期待の程を感じ、改めて身の引き締まる思いでございます。今後とも改善を続け、より良い教育活動が展開できるよう、努力してまいります。また、皆様方からのご要望は、校内で十分に検討してまいります。引き続きご協力の程、よろしくお願いたします。

1 アンケート集計結果について ※思う：よく思う・だいたい思う 思わない：すこし思わない・思わない

項目	思う (%)	思わ ない(%)	分から ない(%)
Q4. 不審者・災害対策、安全指導など、子供の安全確保のための対策がとられている。	87	8	5
今年度、児童と保護者、地域の方々と協力して、総合避難所訓練を行いました。子供たちは、避難所開設・運営と防災教育の体験学習の両方を行いました。校内では月に一度、火災や地震の災害に備え、避難訓練を行っています。三学期の避難訓練では、事前に予告せずに訓練を行うことがあります。今まで身に付けたことを生かし、迅速に行動できるよう、そして命の大切さについて繰り返し指導してまいります。			
Q5. 学校施設、教室環境など安全で学びやすい環境が整っている。	79	16	5
各学年・教科に合わせて教室・廊下・ホールなどの安全で学びやすい環境づくりを常日頃から意識しています。また、月に一度の教職員による安全点検では、複数の目で見て危険な物の撤去や修理、注意喚起などに対応しています。引き続き市と連携を図り、より安全な環境整備に努めてまいります。			
Q6. 毎月の生活アンケート（児童用）や個別面談（担任やスクールカウンセラー等と児童）など、いじめや問題行動に対して適切な指導が行われている。	69	14	17
毎月、生活アンケートをとり、困ったことや不安がないかなどの聞き取りを行い、必要な指導を行うようにしています。困ったことや不安なことがある時には、学級や学年の先生でなくても、SCや管理職などだれでも相談してよいことを全校朝会などで伝えています。その他にもタブレットPCに相談ができるサイトの情報を掲載したり、長期休みの前後に不安がないかを聞くようにしたりして、児童が悩みや不安を一人で抱え込まない環境づくりに努めています。児童や保護者から相談があった場合に校内の関係者で情報を共有し、職員が連携して迅速に対応を行うようにしています。今後も児童が安心して学校生活を送ることができるように対応してまいります。			
Q7. 効果や価値のある指導（ICT活用・地域連携・学校間交流等）を随時取り入れ、新しい時代に必要な資質を育成している。	85	5	10
ノートの代わりにタブレットを使ってまとめ学習をしている学年があります。6年生は移動教室に向けて、群馬県みなかみ町立水上小学校とインターネットを利用したの交流学習や学校訪問をしました。4年生は、海外の小学校とビデオレターやオンライン等で交流をすることでグローバルな視点をもたせる教育活動に生かしています。昨年度に引き続き、タブレットが重いため学校保管にしてほしいとのご意見をいただいています。現在、学習予定をタブレットで確認したり、家庭学習をしたり、欠席の際に学級の様子を把握したりするなどにも活用しています。教科書類は家庭学習に必要な物以外は学校に保管するようにしています。学校で充電できる台数には限りがあります。学年、学級の実態に応じて対応をしておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。			

Q8. 基礎・基本の学力の定着を図り(放課後学習「やぎ小寺子屋」、朝学習の充実等)、学ぶ楽しさを味わう授業、よくわかる授業が行われている。	77	10	13
<p>放課後学習「やぎ小寺子屋」では、保護者の皆様のご意見を参考にしながら、学年や定員の拡大等、より良い学習環境づくりに努めてまいります。また、朝学習では1・2学期の学習の習熟状況を考慮しながら取り組む内容を学年で吟味し、児童の実態に合わせたものを計画的に進めてまいります。</p>			
Q9. 子供のよさを認め励ます指導、個別最適な指導、最後までやりぬく指導が行われている。	79	12	9
<p>本校では今年度より、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指す授業研究に学校全体で取り組んでいます。1・2学期の研究を受け、成果や課題を職員同士で共有しながら3学期では更に効果的な授業づくりをしていけるように努めてまいります。</p>			
Q10. 話をよく聞き、自分の考えをすすんで発表できる態度や力を養うための指導が行われている。	81	7	12
<p>朝の会や帰りの会をはじめ、学校生活の様々な場面を通して友達と考えを共有することの良さを味わうことができるように指導しています。授業では、今後も自分の考えがもてるように「めあて」を明確にして、目的意識や相手意識をはっきりさせることを意識して指導をしてまいります。</p>			
Q11. 朝読書や読み聞かせ、読書旬間を通して、すすんで読書に親しむ態度が養われている。	76	14	10
<p>お話サークル「ゆらら」の方や、みどり学級の保護者の方による読み聞かせ、図書委員会による取組等を行い、子供たちが多くの本に触れ、本を好きになってもらえるよう、引き続き指導してまいります。読書をすることで、豊かな感性や、想像力を培うとともに、語彙を増やし、思考力や表現力を高め、読む力がつきます。ご家庭でも、お子さんがたくさん本と触れ合い、読書習慣が付きまますよう、声掛けや励ましをよろしくお願いします。</p>			
Q12. 道徳の時間をはじめ、様々な指導を通して心の教育の充実が図られている。	88	4	8
<p>児童が様々な立場に立ったり、今後の生活への活かし方を考えたりする時間を大切にすることを継続してまいります。また、教員の授業改善もさらに努めてまいります。学校・保護者・地域の力を合わせて児童の豊かな心を育てていけるよう、今後も、ご協力をお願いいたします。</p>			
Q13. たてわり班活動等を通して異学年の交流が効果的に行われている。	87	5	8
<p>たてわり班活動は、年度の始めに5・6年生が班の皆から遊びを募集し、毎回の計画を立てています。回を重ねるごとに子供たち同士の関係性が深まり、楽しく活動しています。2月には5年生が主体の活動も計画されています。他学年の児童には、6年生への感謝の気持ちをもつとともに、次の学年への意欲を高めてほしいと思っています。</p>			
Q14. 心が通い合う挨拶や丁寧な言葉遣い等、言葉を大切にされた指導が行われている。	76	13	11
<p>挨拶に関しては月ごとにあいさつの目標を設定し、学級に掲示をして指導しています。代表委員会が中心となって行っている挨拶運動でも、回を重ねるごとに気持ちのよい挨拶ができる児童が増えてきています。丁寧な言葉遣いについては、学校生活のルールにも記載し、日常的な指導を行っています。特に正しくない言葉の「使い始め」を見逃さず、自分の思いなどを表現するのに本当にふさわしい言葉なのかを指導していくようにいたします。ご家庭でもそういった言葉を使い始めたときに、周りの人がどのように感じるか等、お話をさせていただくようお願いいたします。</p>			

Q15. お子様は集団生活での細かなルールを守り友達と協力して活動している。	87	8	5
<p>今年度、みんなが安全に過ごせるように「学習」「生活」「遊び」「タブレットの使い方」についての校内のルールを見直し、全校朝会や学級で一斉に指導をしました。校内のルールについてだけでなく、通学路の歩き方や放課後の遊び方などについても、必要に応じて指導を行うようにしています。友達との協力については、当番や係での活動、学習、行事、特別活動など、様々な場面で児童が他者と関わる場面を設定し、集団で取り組むことのよさを実感し、協力することの価値に気付けるように指導をしています。</p>			
Q16. お子様は、友達と仲良くしている。	93	4	3
<p>前期同様に後期も90%以上が肯定的な回答となっています。全ての児童が友達とよりよい関わり方ができるように、学校生活アンケートの内容や普段の様子を観察し必要な指導を行っています。ご家庭でも友達とどのように関わっているのかについてお子さんと話をさせていただき、友達とのよりよい関わり方について、保護者の方からもアドバイスをいただければと思います。友達と仲良く過ごすために「ルールを守る」「よりよい関わり方」についての指導を継続して行っています。みんなが気持ちよく過ごせるように学校生活のルールについて見直し、ルールの意義や守ることのよさについての指導を全校で行いました。よりよい関わり方については、行事や集団活動で振り返りの時間を大切にしています。いじめに関してはアンケートなど相談できる環境づくりとともに、教職員がアンテナを高くし、友達同士の関わり方や言動など些細なことも見逃さないように、担任だけでなく全教職員で声掛けや見守りに取り組み、誰に対しても思いやりの心をもって接することができるように引き続き指導や支援を行ってまいります。</p>			
Q17. お子様は、相手の目を見て挨拶している。	70	25	5
<p>代表委員会では、4月から毎月1回の挨拶運動を続けています。1学期の挨拶運動の反省から出た「相手の目を見て」「聞こえる声で」「会釈（礼）をして」という3つのポイントを意識してほしいという思いから、2学期は3つのポイントを数値化して毎月上位の学年を表彰しました。引き続き、気持ちのよい挨拶をすることの大切さを全校に広げていこうと思います。</p>			
Q18. 保健指導や体育授業等を通して健康な身体づくりに取り組まれている。	94	3	3
<p>体育の授業では、運動量の確保だけでなく、「もっとできるようになりたい」「体を動かすことは楽しい」と感じられるような指導を継続してまいります。保健の授業では、各学年の実態に合わせた指導を行い、身近な生活の健康・安全面についての理解を深め、学んだことを実践できるように努めてまいります。</p>			
Q19. 「早寝・早起き・朝ごはん」を習慣化するように指導が行われている。	82	8	10
<p>夏休みに行った「なつやすみけんこうカード」をもとに、12月のほけんだよりにて、冬休みの健康を振り返ってもらえるように周知しました。また、日頃の保健室で、児童には声掛けを行い、指導の機会としています。長期休業に入る前には、生活指導の話として「睡眠・食」について全校で話をしています。3学期健康観察の際、保健指導を行い、今後も継続して児童の生活習慣がよりよいものになるように指導してまいります。</p>			
Q20. お子様は、すすんで運動に取り組んでいる。	73	25	2
<p>寒い日が増え、前期と比較すると休み時間に教室の中で静かに過ごすお子様の姿が多く見受けられます。3学期は、より一層寒さが増す時期になりますが、お子様が意欲的に体育の授業や休み時間に体を動かすことができるように取り組んでまいります。また、友達と安心して遊ぶことのできる放課後遊び場開放も引き続きご活用ください。</p>			
Q21. 学校公開、行事、学校だより、学年だより、ホームページ等を通して学校の様子が伝えられている。	90	10	0
<p>今年度より、学校からのお知らせ等を「すぐーる」を通して行っております。学年だよりや学級だより等の配信につきましては、年度内には整備し、お知らせできるようにいたします。HPでも「校長日記」を中心に、学校の様子を適宜発信してまいりますので、ぜひご覧ください。また、すぐーるにて3学期の下校時刻について周知いたしました。ご活用ください。今後とも保護者の皆様に分かりやすい情報発信に努めてまいります。</p>			

Q2 2. 保護者の思いや意見を受け止め、適切に対応している。	78	13	10
個人面談や保護者会へのご出席、各種アンケートへのご回答など、保護者の皆様には教育活動へのご理解、ご協力を賜り、感謝しております。今回の自由記述にも、学校行事のお手伝いをしていただける等、温かいお言葉をたくさんいただき感謝しております。お子様のことで心配な点がございましたらいつでも学校にご相談ください。			
Q2 3. 保護者や地域の教育力を活用した教育活動が行われている。	85	5	10
今年度も、保護者の方々や地域の皆様に様々な場面でご協力いただきました。多くの施設等に伺い、見学や体験をすることができました。南町コミュニティセンターやアスタ西東京で歌唱の発表の機会をいただけたことは、子供たちにとって貴重な経験となりました。また行事だけでなく、生活科や社会科見学、体育科や家庭科等の授業での安全管理のため、多くの保護者の方にサポートしていただきました。子供たちが楽しく学習したり学びを深めたりするための教材の開拓は、なかなか難しいものです。保護者や地域の皆様からアイデアをいただけますよう、また、さらに多くのお力をお借りできますよう、体制を整えていきたいと考えております。			

2. 自由記述欄の内容について

自由記述欄には、保護者の皆様から様々なご意見をいただきました。学校への感謝のお気持ちや教職員を気遣うお言葉もたくさんお寄せいただきました。心よりお礼申し上げます。

特に多くの方からいただいたご意見に回答いたします。

また、今後もお気付きの点やお困りのことがございましたら、いつでも学校にご相談いただけますよう、お願い申し上げます。

児童全員の尊厳が守られ、安心して学校生活を送れるようにするため、他学年の情報共有をできる限り全校にしてほしい。教育委員会や児童相談所など第三者の介入も期待している。

「すべての子供たちが安全に学校生活を送り、保護者の皆様が安心して送り出していただける学校であること」が全教職員の願いであります。そのために学校では、常に「虐待、いじめ、暴力・暴言等」の事案について西東京市教育委員会に報告し、相談等を通じて手立てを講じています。また、事案の内容に応じて、子ども家庭支援センター、児童相談所、警察署等との密な連携を図っております。

今後も子供たちの尊厳を守るために三者（学校、保護者、関係諸機関）による情報共有を一層図っていくと共に、個々の人権も最大限に尊重してまいります。

引き続き、人権に配慮しながら情報の共有に努めてまいります。保護者の皆様からの励ましや本教育活動へのご理解ご協力は、児童も含め、教職員一同、学校全体に勇気・元気・歓喜を与えてくださいます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。